

議会ICT化に向けて、

「高梁市議会ICT推進基本計画」を策定

平成31年3月に特別委員会を設置して以来、グループウェアの試行、パソコンやタブレット端末の議場や委員会室への持ち込み、先進的な取り組みの研修などを行ってきました。令和2年度では、「高梁市議会ICT推進基本計画」を策定し、導入端末や議場などへのWiFi設置を決定しました。

計画策定過程では、何のためのICT化なのかということが議論となりました。最終的には「議会基本条例が目指す、市民に開かれ



▲導入予定のタブレット型端末

た議会のなお一層の実現」、「議会の運営の効率化、情報伝達の迅速化」、「議会活性化」、「大規模災害や感染症拡大に備えた危機管理体制の強化などにより、さらなる議会改革の推進」が目的です。その有効な手段の1つとして、議会におけるICT技術の積極的な活用を推進していくことが定められました。また、この計画と同時に「高梁市議会の情報通信機器使用基準」を策定し、無秩序な電子機器の使用やインターネットの利用を防止することにしました。

3月定例会では、議会ICT化のための予算が可決され、令和3年度には、全議員がタブレット型端末を使用して議会活動を行う予定です。

議員定数や議員報酬について

令和4年9月までに一定の結果を

この特別委員会は、市議会議員選挙が無投票になったことから、次代の議会を担う多くの立候補者があり、市民の福祉向上のため活動がしやすい条件の整備を視野に、将来に向けて議会が役割と責任を果たすべき姿を示すとともに、その実現にむけて、高梁市議会の議員定数、議員報酬などについて具体的な数字を出すために検討を進める目的で、令和2年12月に設置されました。

これまで5回の委員会を開催し、目指す議会像を「政策提言を行う議会（チーム高梁市議会）」とし、議会基本条例に掲げられている事項を基本に、1月に開催された議員研修会では、明治大学講師の廣瀬和彦先生による講話を参考とし、議員定数や議員報酬について、次期一般選挙の2年前の令和4年9月までに一定の結果を出すことにしています。



1月に開催した議員研修でも議会改革について勉強しました

委員会メンバー

委員長	宮田好夫
副委員長	川上博司
委員	倉野嗣雄
委員	三村靖行
委員	石部 誠
委員	石田芳生
委員	石井聡美
委員	伊藤泰樹

一般質問 ここを聞きました！

小林重樹

- ・高梁市総合計画基本構想について
- ・ふるさと納税について

川上修一

- ・新型コロナウイルスワクチン接種について
- ・合併特例債について
- ・人口減少対策について

伊藤泰樹

- ・高齢者見守りについて
- ・水道管の凍結による破裂事故について
- ・高梁市行財政改革プランについて

森上昌生

- ・駅前複合施設について
- ・旧高梁市健康増進施設「朝霧温泉ゆ・ら・ら」跡地活用事業について

宮田好夫

- ・就学前の子どもについて
- ・公共交通について
- ・産業廃棄物について

金尾恭士

- ・川上畑地かんがい施設の現状と持続可能な管理運営について
- ・川上医療センターについて
- ・福祉行政について
- ・教育行政について
- ・新型コロナウイルスワクチン接種に対する市の対応について
- ・高梁市総合計画前期基本計画について

平松久幸

- ・平成30年7月豪雨災害の対策について

川上博司

- ・新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について

新倉 淳

- ・消防団、消防本部について
- ・本市の農業について
- ・公共交通について

石田芳生

- ・高梁市総合計画について
- ・医療、介護について
- ・障害者福祉について
- ・教育について

石部 誠

- ・新型コロナウイルス感染症への対応について問う
- ・トイレのまちづくりについて問う
- ・阿部地区井谷ハイツの陥没について

三村靖行

- ・小中学校のいじめ問題対策について
- ・新型コロナウイルスワクチン接種について
- ・老朽空き家対策について

森 和之

- ・防災対策について
- ・学童保育について
- ・公共交通について

小林重樹 議員

市職員採用に地元定住枠を

高梁市総合計画基本構想について

小林 高梁市総合計画基本構想の最も重要な施策は何か。

市長 次期総合計画は人口というキーワードなしには語れず、まち・ひと・しごと総合戦略では2030年に2万5千人の人口目標を立てている。人口は生活にも財政にも直結するものであり、定住という政策課題が重要である。

小林 本市出身者が大学卒業後、地元就職を希望しても就職先が限られている。市職員採用において地元定住枠を設けられないか。

市長 本年度採用試験に定住・移住枠を新設した。採用後は高梁に住み続け、高梁市民のために働くことが条件であり、2名が採用予定である。

ふるさと納税について

小林 市外から通勤している市職員に、ふるさと納税の協力を要請しているのか。また市外からの通勤職員と、ふるさと納税者数は。

市長 市の正規職員は640人で、そのうち144人が市外より通勤しているが、それには色々な事情があると思う。また年2回のお願により、31人の職員が40件のふるさと納税をしている。

小林 この数値についてどのような思われるか。

市長 職員として働き、そして市民サービスを提供すると同時に、市民の皆様の納税によって職員の給与も賄われている。そのことは職員に理解していただきたいという思いもあり、なお一層の呼びかけを行っていく。